

大学院共通科目を受講して

古田島知則¹

今まで私が携わった大学院共通科目をリストアップすると（スライド1）、意外とたくさん受けていて、8科目を受講、もしくはTAで携わっていました。小林先生のお話にもあった通り、8科目は筑波大学の中では多い方です。今日は3科目に絞って学生の立場からお話ししたいと思います。

◆ “大学院共通科目を受講して”

古田島 知則
KOTAJIMA Tomonori
生命環境科学研究科
生物科学専攻
植物代謝生理学研究室（白岩研究室）

◆ 今まで受講したもの or TAで携わったもの

研究倫理	- 小林信一
科学技術・学術政策概論	- 今井寛
博士と企業	- 吉武博通
サイエンスコミュニケーション講座I	- Richard Stone
サイエンスコミュニケーション講座II	- 和田洋
Special Preparation for TOEFL iBT	- 林功
Science mini-tour	- 白岩善博
国際研究プロジェクト	- 白岩善博

スライド1 今まで受講したもの、TAで携わったもの

1. 博士と企業（2010年/平成22年にTA）（スライド2,3）

どういう科目なのか？：博士号をもつ企業の研究者が、オムニバス形式で授業を行います。特に博士号を持つことの意味、文字通り博士と企業の関わりについて。

どういうことをやったのか？：吉武先生がTAの役割を重要視される方だったので、PCや配布資料の準備といった裏方的な作業をするだけでなく、講義内容にも直接関わった形になりました。2010（平成22）年の大学院生対象のTA研究会では、日本では裏方的な仕事がメインだが、欧米だとTAが自ら授業を行うなど、かなり役割が大きいということだったので、いろいろと勉強になったと思います。

¹筑波大学生命環境科学研究科在学

① 博士と企業 (2010年にTA)

どういう科目なのか？

博士号をもつ企業の研究者が、オムニバス形式で授業を行います。特に**博士号を持つことの意味、字の通り博士と企業の関わり**について。

どういうことをやったのか？

計6人による授業でした。私はTAとして、PCや配布資料の準備を行いました。世話人の**吉武先生がTAの役割を重要視する方**だったので、良い意味で講義内容にも私が直接関わった形になりました。



スライド2 博士と企業①

なにが良かったか：演者のバックグラウンドが多岐に渡ること。受講生のほとんどが修士1年生の学生だったので、修士取得後大学に残るか就職するかで悩んでいるはずだと思います。演者の方々は、①博士号取得→就職、②就職→論文博士、③就職→社会人入学など、博士号を取得した経緯は様々で、今後のキャリアパスに良い参考になったかと思います。

なにが悪かったか：授業でなくてもできる？企業の方から話を聞く機会がほかにないので新鮮ではあったものの、就職活動として個人でもできることともいえます。また、吉武先生、演者の先生は受講生からの積極的な質問を望んでいましたが、ほとんど質問が出ませんでした。演者の方に申し訳なかったのもっと学生さんには積極的にやってほしいと思いました。結局TAが一番質問しました。

① 博士と企業 (2010年にTA)

なにが良かったか

演者のバックグラウンドが多岐に渡ること。受講生のほとんどが修士1年の学生だったので、修士取得後、大学に残るか就職するかで悩んでいるはず。演者の方々は、①博士号取得→就職、②就職→論文博士、③就職→社会人入学 など様々で、良い参考になったかと思います。

なにが悪かったか

授業？授業じゃなくてもできる？
また吉武先生、演者の先生含めて受講生からの積極的な質問を望んでいましたが**ほとんど質問が出なくて**演者の方に申し訳なく思いました。結局TAが一番質問。

スライド3 博士と企業②

2. **Special Preparation for TOEFL iBT** (2009年/平成21年に受講、2011年/平成23年にTA)
(スライド4,5)

どういう科目なのか? :TOEFL のスコアアップを目指すコース。東京の TOEFL 予備校、LINGO LLC 代表の林功先生が来て、毎週 3 時間 5 週間 TOEFL 対策の授業をしてくださいました。

どういうことをやったのか? : 各自パソコンとヘッドフォンを持参して専用ソフトをインストールします。そのソフトの中にはリスニング、長文などのミニ問題集が入っていて、問題を解いて先生が解説してくれる。毎週課題が出され、それを持って行き、答え合わせをするという、予習復習を重視する授業でした。大学院生対象であったけれども、海外留学予定の学類生も受講していました。

◆ Special Preparation for TOEFL iBT
(2009年に受講、2011年にTA)

どういう科目なのか?

TOEFL 予備校、LINGO LLC 代表の林功先生が来て、毎週 3 時間を 5 週間、TOEFL 対策の授業をしてくださいました。

どういうことをやったのか?

各自パソコンを持参して専用ソフトをインストール、そのソフトと、教科書、教材 CD を使って授業を進めていきます。毎週課題が出されて、予習復習は絶対。大学院生だけでなく、海外留学予定の学類生も来ていました。



スライド 4 Special Preparation for TOEFL iBT①

なにが良かったか : 自分の英語力アップにつながったことが一番に挙げられます。留学予備校の先生ということで、かなり TOEFL に特化した授業でした。

なにが悪かったか : 学生側の問題ですが、毎週金曜 3 時間空けるとなると、実験との兼ね合いがあり、時間的に厳しかったです。これは他の大学院共通科目にも共通することです。また、英語は継続的な学習が必要なので、学生側の個人の問題ではあるが週 1 回の授業では実践するのが困難でありました。私自身は一時的に英語力が伸びましたが、教材の CD の長文や iTunes の Podcast で海外のニュースなど生の英語を常に聞いて実践できている人はどんどん英語力の強化につながっていくと思います。

② Special Preparation for TOEFL iBT (2009年に受講、2011年にTA)

なにが良かったか

TOEFLは読み書き話しの複合テスト。国内だと重宝される**TOEICのスコアアップにも繋がる**(これは実際にも役立った)。留学予備校の先生ということで、かなりTOEFLに特化した授業でした。先生自身が個性的。

なにが悪かったか

毎週金曜3時間、実験との兼ね合い。

またこれも学生側の問題ですが、授業だけではもちろん英語力は伸びません。普段から生の英語を聞かなければ意味がないようです。教材CDを毎日聴いて常に英語脳にしていないとダメと言われて、ぼくは結局ダメでしたが、実践している人は確かにいます。

スライド 5 Special Preparation for TOEFL iBT②

3. 国際研究プロジェクト (2011年/平成23年に受講) (スライド6,7)

どういう科目なのか? : 海外の研究室と共同研究をやりたい人、海外へ行きたいという人を支援するプログラムです。研究計画書を書いて採用されれば、最大30万円の旅費(宿泊費を除く)が支給されるというもの。

どういうことをやったのか? : 私の研究計画書が採用され、実際に行ってきました。私の指導教官経由で海外の研究室にこのような研究をしたい旨のメールを書き、了承をもらい、筑波大学に研究計画書を出して採用されました(3月)。実際にフランス、スイスの国境付近にあるドイツのフライブルグ大学の研究室に2週間滞在しました(10月)。初めてのヨーロッパで2週間英語漬けの生活で自分の実にもなりましたし、海外の研究室に滞在することが初めてだったので貴重な経験になりました。帰国後は、レポートの提出が絶対条件になっていて、結構長めのA4十何ページかのレポートと短めのHP掲載用の公開報告書を提出しました。

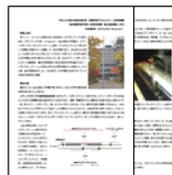
③ 国際研究プロジェクト (2011年に受講)

どういう科目なのか?

海外の研究室と共同研究をやりたいときに、研究計画書を書いて採用されれば、**旅費(宿泊費を除く)が支給される**、というもの。

どういうことをやったのか?

研究計画書が採用された(3月)ので、実際に**ドイツ・フライブルグ大学の研究室に2週間滞在**して、色々学びました(10月)。帰国後は、結構長めのレポートと、短めのHPに掲載するための公開報告書を書いて提出しました。



スライド 6 国際研究プロジェクト①

なにが良かったか? : すべてが良かったです。研究計画書が採用された喜び、海外の研究室で武

者修行ができたこと、そして何より旅費が賄えたことが一番良かったことでした。

なにが悪かったか：自分にとって役立つ授業だったので挙げるのは難しいが、強いて言えば、「このような渡航費は必ず国際学会に出る目的で使うな」と言われていたのに、その目的に使った学生が出てきたことです。

③ 国際研究プロジェクト (2011年に受講)

なに良かったか

全て良かった。研究計画書が採用された喜び、海外のラボでの武者修業ができたこと、何より**旅費(往復約25万円)が賄えたこと**、などなど。

なにが悪かったか

全くないですが、強いてあげるなら、あれほど「**国際学会に出る目的で使うな**」と言われていたのに、やはりそれ目的で採用された学生がいて(ここまではグレースーンだと思うが)、堂々と報告書にもそのことを書いて実際にHPに公開されていること。
これは学生側の問題。

スライド7 国際研究プロジェクト②

4. 全体を通して言えること

なに良かったか：実験生活だけでは得られない知識を経験が得られたことです。先ほどのオムニバス授業で4~6人の先生が来られたが、いろいろな人と接していろいろな話が聞けてたくさんの人に出会えたのは貴重な経験だったと思います。研究室に籠る実験生活も大事だが、他にエッセンスとして教養的な知識や一般社会がどうなっているかといった情報を得ることも大事なことだと思います。ほかには、現実的に単位、TA代をもらえるのもいい点だったと思います。

なにが悪かったか：時間的な問題が挙げられます。1単位を取るのに15時間かかるが、大学院生は実験生活が主体なのでその貴重な実験時間を取られるという考え方が必ず出てくると思います。それから、必修科目でないので、受けなくても修了できるので、受けない人も必ず出てくると思います。外部から来られる先生もいるが、人気科目と不人気科目の受講人数の差が激しいように感じるので申し訳ないと感じます。受講生、学校のためにも、大学院共通科目スケジュール表があれば、受講生の数も増えるのではないかと思います。

◆ 全体を通して言えること

なにが良かったか

- ・ 実験生活だけでは得られない知識（と経験）
- ・ 「こんな人もいるのかー」
- ・ 研究室社会と一般社会の間を繋いでいる
- ・ 単位

なにが悪かったか

- ・ 実験生活との兼ね合い（15時間のロス）
- ・ 別に受講しなくても卒業できる
- ・ 人気科目と不人気科目の差が激しいように感じる
- ・ 広報不足

スライド 8 全体を通して言えること